

2013

5/1

May
No.182

市報 やまぐち

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp

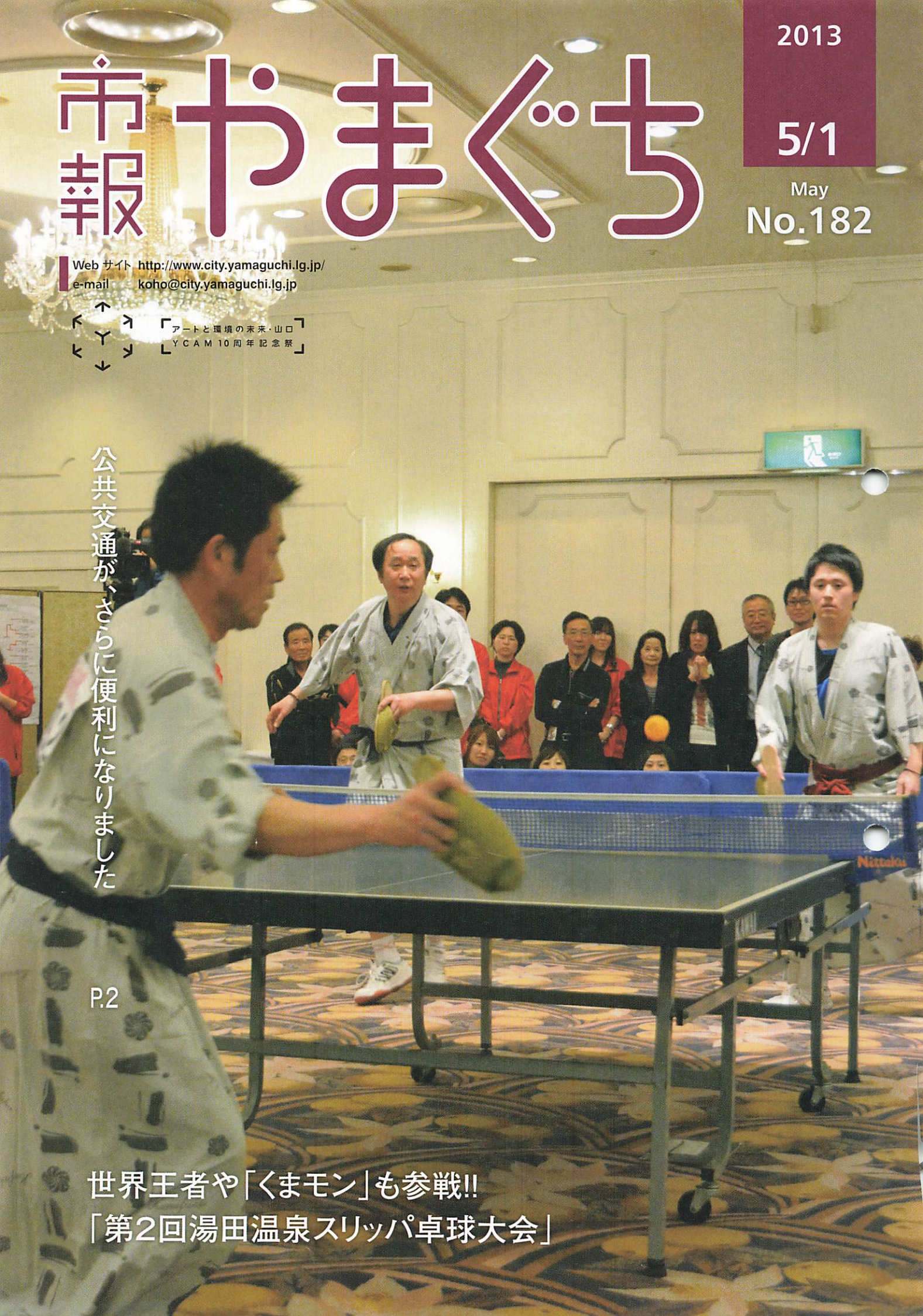


「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

公共交通が、さらに便利になりました

P.2

世界王者や「くまモン」も参戦!!
「第2回湯田温泉スリッパ卓球大会」



「創ろう！守ろう！みんなの公共交通」

公共交通が、さらに便利になりました

■問い合わせ 市交通政策課 (☎083-934-2729)

市では、「山口市市民交通計画」に基づき、市民の皆さん、交通事業者、行政のみなさんが当事者となり、協働して、公共交通をつくり、育てるということに取り組んでいます。

これまで、市民誰もが安心して住み続けられる、クルマに頼りすぎない交通まちづくりを目指して、鉄道やバス、タクシーといった公共交通をみんなでつくってきました。

特に今年春には、鉄道、バス、タクシー等の公共交通がより便利に利用しやすい仕組みづくりを行っており、皆さんの生活により身近な「足」になっています。



【路線バスの取り組み】

路線バスを日中の高需要時間帯において、20分間隔の分かりやすい運行形態にしました。(主要道路の一部)



【JRの取り組み】

今春から、新幹線「のぞみ」1本、「さくら」2本、「ひかり」1本が新山口駅に増停車することになりました。



【(コミュニティ) タクシーの取り組み】

現在8地域でタクシー事業者の協力の下、地域主体で運行ルートやダイヤなどを決定しています。

「山口市公共交通委員会のこれまでの取り組み」

皆さんは「山口市公共交通委員会」をご存知ですか。

この委員会では、市民の方が公共交通を利用して、快適に移動するにはどのようにしたら良いかについて、アイデアを出し合い事業を推進します。またその結果を評価し、改善することにより、さらなる公共交通の充実を図ることを目的としています。

そのため、この委員会は、行政だけでなく、公共交通事業者（鉄道・バス・タクシー）や公募市民のほか、交通を専門分野とされている研究者の方など、組織の枠を超えた多くの関係者で構成されています。

これまで、クルマと公共交通の上手な使い方などの意識啓発、公共交通マップや総合時刻表の作成による情報提供、勉強会開催や市内一斉ノーマイカーデー設定を通じて市民の皆さんがより気軽に公共交通を利用できる仕組みづくり（ノーマイカーデーに合わせた臨時便を増便（JR西日本）の取り組み）などを行ってきました。



山口市ノーマイカーデーの取り組み (JR西日本)

さらに、4月からは、路線バスがもっと利用しやすくなる便利な取り組みが行われています。

「路線ごとに番号が？」

皆さん、旅行先でバスに乗ろうとした時、どのバスに乗れば目的地まで行けるのか迷ったことがありますか？
そんな悩みを解消するため、4月から防長交通の路線バス車両に、行き先や経路が異なる路線ごとに番号が表示されました。番号は分かりやすいように決められています。

これで、行きたい所へ迷うことなくスムーズに行け、また、市外・県外からお越しになったお客さんにも案内しやすくなります。

本年は、日本ジャンボリーの開催や山口情報芸術センター「YCAM」10周年記念祭など、大きなイベントが盛りだくさん。それにともない、県外から多くの観光客が来られることが見込まれており、行き先や経路が一目で分かる番号表示により、どなたでも安心して利用しやすくなります。

この取り組みを通じ、観光客の皆さんへのおもてなしが、再び本市を訪れたくなるようなきっかけに繋がります。皆さんのご協力をお願いします。

(使用例)

新山口駅から湯田温泉へ行くには、100番台・300番台のバスに乗ってください。



100番台

新山口駅～小郡第一病院・湯田温泉～山口市中心市街地・宮野方面



300番台

新山口駅～山手・平川・山口大学・湯田温泉～山口市中心市街地・宮野方面



400番台

山口リハビリ病院～山口大学・湯田温泉～宮野方面



500番台

新山口駅～山手・バイパス～宮野方面

下2桁が10～80番(435番など)は県庁を經由します。

「みんなでもって便利に！」

クルマはとっても便利な乗り物です。しかし、みんながクルマばかり使っていると、クルマが使えなくなったり、移動したくてもバスや鉄道など公共交通がない、そんなまちになってしまいます。

鉄道やバス、タクシーが使いやしいところにお住まいの方が、天気の悪い日や山口市ノーマイカーデーに、公共交通を使っていたら、公共交通が運行し続けるだけではなく、今よりもっと便利になるかもしれません。

これからはお出かけに最適な季節がやってきます。ご自宅の周りに公共交通の乗り場はありませんか？

たまには、公共交通でゆっくりと市内を回ってみてはいかがでしょう。いつもとはちがう新鮮な発見があるかもしれませんよ。

少しずつ便利になってきていることをぜひ実感してみてください。



市交通政策課 浄福麻衣

山口市の 財政状況

平成 24 年度
下半期
財政公表

市の予算がどのように執行されているか、平成 24 年度下半期（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の財政状況をお知らせします。

※一般・特別会計とも、会計年度は 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までですが、平成 25 年 5 月 31 日までは現金の出し入れがあるため、決算額は今後異なつてきます。

■問い合わせ 市財政課
(☎083・934・2750)

◆一般会計

当初予算に平成 23 年度からの繰越額 69 億 614 万 2 千円を含め、821 億 414 万 2 千円であった市の一般会計補正予算は、その後、追加・減額補正を行い、3 月末現在で総額 842 億 201 万 5 千円（市民 1 人当たり約 43 万円）となりました。

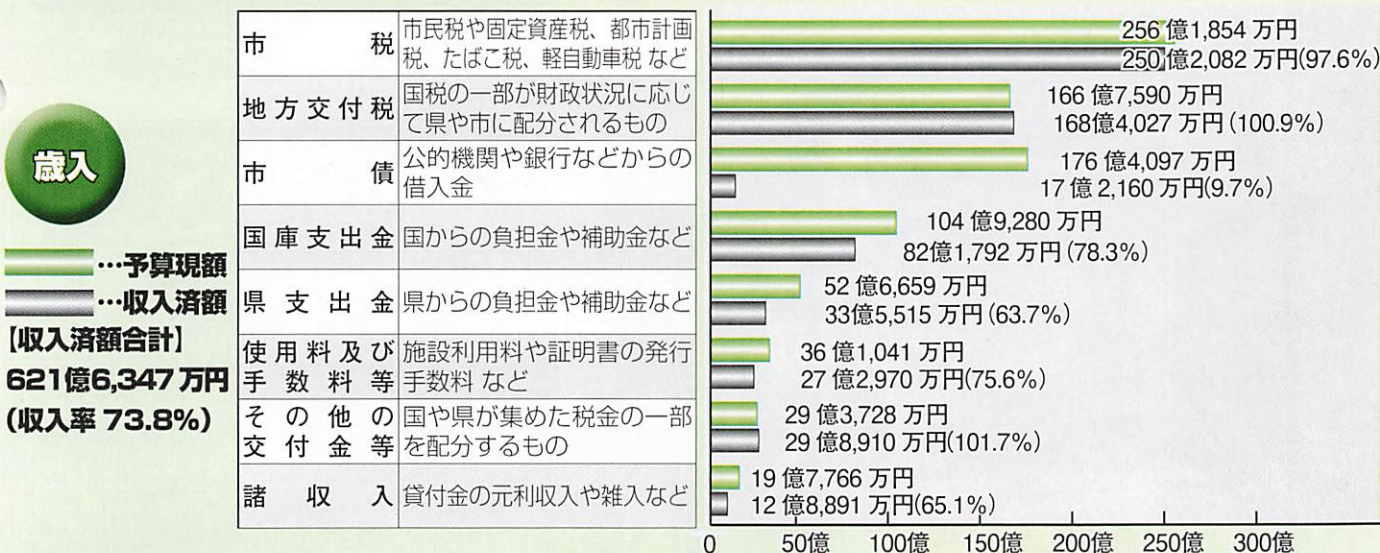
【主な増額予算】

- 新山口駅ターミナルパーク整備事業…18 億 800 万 0 千円
- 学校・幼稚園施設耐震化のための事業…6 億 231 万 9 千円
- 学校給食施設増改築事業…2 億 140 万 8 千円

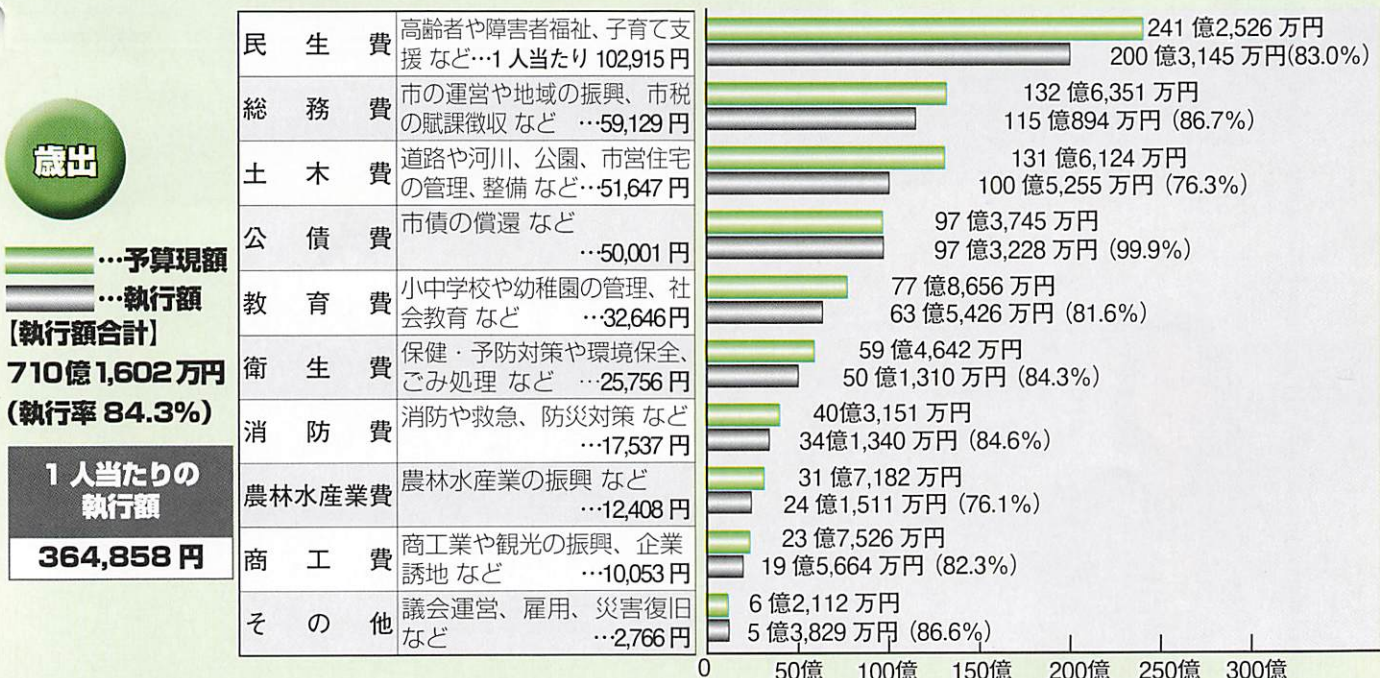
3 月末の収支状況は、下記①の通りです。

① 一般会計の収支状況（3 月末現在）

※予算現額には、平成 23 年度からの繰越額 69 億 6,142 万円を含んでいます。



※使用料及び手数料等には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金を含んでいます。
 ※その他の交付金等には、地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金を含んでいます。



※その他には、議会費、労働費、災害復旧費、予備費を含んでいます。

歳入

…予算現額
 …収入済額
【収入済額合計】
621 億 6,347 万円
（収入率 73.8%）

歳出

…予算現額
 …執行額
【執行額合計】
710 億 1,602 万円
（執行率 84.3%）
1 人当たりの執行額
364,858 円



新山口駅ターミナルパーク整備事業では、現在、橋上駅舎の基礎工事を行っています。

◆特別会計

特別会計は、国民健康保険事業など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区別して経理するための会計です。

3月末の収支状況は、下記②の通りです。

◆市債

3月末の市債残高見込みは、下記③の通りです。

※市民1人当たりの数値の算出は、平成25年4月1日現在の人口である19万4640人を参考としています。

② 特別会計の収支状況(3月末現在)

項目	予算現額	歳入		歳出		
		収入済額	収入済率	執行額	執行率	1人当たりの執行額
国民健康保険	210億9,223万円	172億6,661万円	81.8%	185億3,554万円	87.8%	95,230円
後期高齢者医療	25億2,848万円	23億351万円	91.1%	22億7,321万円	89.9%	11,679円
介護保険	147億9,166万円	119億2,273万円	80.6%	133億6,198万円	90.3%	68,650円
介護サービス事業	5,717万円	5,297万円	92.6%	5,275万円	92.2%	271円
土地取得事業	8,049万円	8,049万円	100.0%	8,049万円	100.0%	414円
駐車場事業	5,428万円	5,407万円	99.6%	4,102万円	75.5%	211円
小郡駅前第三土地区画整理	3億5,636万円	2億4,739万円	69.4%	3億5,515万円	99.6%	1,825円
簡易水道	3億4,610万円	8,021万円	23.1%	3億2,443万円	93.7%	1,667円
農業集落排水	5億3,719万円	1億2,461万円	23.2%	4億6,666万円	86.8%	2,398円
漁業集落排水	1,816万円	508万円	27.9%	1,043万円	57.4%	54円
地域下水道	676万円	387万円	57.2%	488万円	72.1%	25円
国民宿舎	6,533万円	5,690万円	87.1%	5,690万円	87.1%	292円
特別林野	970万円	688万円	70.9%	445万円	45.8%	23円
合計	399億4,391万円	322億532万円	80.6%	355億6,789万円	89.0%	182,737円

③ 市債等の状況(3月末現在)

区分	平成24年度末現在高	1人当たりの現在高
一般会計	795億3,263万円	408,614円
特別会計	56億5,681万円	29,063円
合計	851億8,944万円	437,677円
上記に対する利息	87億4,656万円	44,937円
一時借入金	0	0

市債は国の赤字国債と異なり、学校や道路、公園などを整備するための目的を持った借入金です。

長期間にわたって使用するこれらの施設に対し、建設時だけでなく後年度に使用する方にも負担を求めることで、世代間の負担の公平を図るという効果も有しています。

市では、返済計画に配慮しながら将来の世代に過度な負担を残さないよう、国の財政支援措置がある市債を有効に活用し、実質的な将来負担の抑制などに取り組んでいます。

これらの財政状況等は、市ウェブサイト(表紙参照)からご覧になれます。平成27年までの財政健全化に向けた取り組み内容を示した「市財政運営健全化計画」や、本市の財政状況を分かりやすく一般家庭に例えた「山口市の台所事情」も掲載していますので、あわせてご覧ください。

10周年を振り返る展示

ワイカム アーカイブス エキシビション 「YCAM ARCHIVES EXHIBITION」を開催！！

今年で開館10周年を迎える山口情報芸術センター〔YCAM〕では、「アートと環境の未来・山口 YCAM 10周年記念祭」を7月から開催します。この記念祭を迎える前に、現在展示している「YCAM ARCHIVES EXHIBITION」を紹介するとともに、この展示の映像にも登場し、開館時からYCAMと関わりの深い大友良英さんのインタビューを紹介してYCAMの魅力をお伝えします。

■問い合わせ 山口情報芸術センター
(☎ 083 - 901 - 2222)



YCAM ARCHIVES EXHIBITION 会場(イメージ)
先のとがった6個の立体の中にそれぞれモニターが設置されており、この中に入って映像を楽しむしかけになっています。

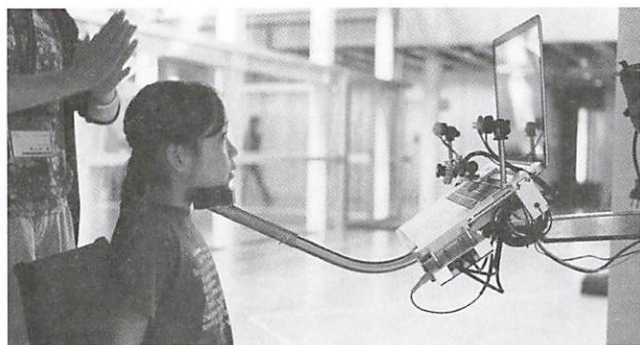
「YCAM ARCHIVES EXHIBITION」

- 期日 平成25年4月20日(土)～6月16日(日) ※火曜休館
- 時間 10時～19時(入場無料)
- 場所 山口情報芸術センター〔YCAM〕ホワイエ



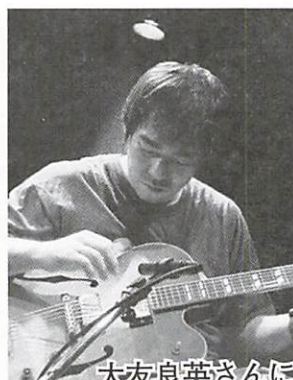
アンサンブルズ 大友良英作品「ENSEMBLES」2008年

開館5周年記念事業の一環として開催した展覧会。多くの人々の参加によって生まれる「アンサンブル」を集合させることをテーマに、さまざまなアーティストや市民参加者とのコラボレーションによる5つの作品を発表しました。(関連イベントとして行われたライブコンサート「Musics」の様子)



LabACT「視線入力技術」2011年

視線を動かすことによって、絵を描いたり、文字を入力したりすることのできるツールを使用した展覧会。医療や福祉などさまざまな分野からの関心を集めました。



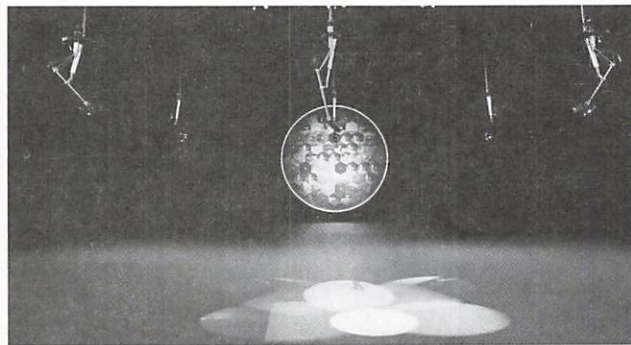
大友良英 (おおともよしひで)

世界中で活動している音楽家。NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽を担当。

大友良英さんにお話を伺いました。

「YCAMから生まれる、それってすごいよね。」

通常の美術館って出来上がった作品を持ってきて展示するのが基本でしょ。それに対して、YCAMはオリジナル作品を制作することを基本にしている。YCAMが存在することでアートの表現方法は確実に広がったと思うし、そのレベルも格段にあがったと思う。そんな施設が山口にあることをみんな誇りに思ってもらいたい。



三上晴子作品「Desire of Codes | 欲望のコード」2010年
監視社会と身体をテーマとした大規模なメディアアート作品。昨年度、第16回文化庁メディア芸術祭アート部門で優秀賞を受賞しました。

その他にも魅力的なオリジナル作品の映像がご覧いただけます。ぜひお越しください。

5/29
(水)

山口市民 VS

千葉県市原市民

チャレンジデー!

みんなで

参加して対戦しよう!!

毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上続けて運動やスポーツに参加した住民の参加率を競う、住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に山口市も参加します！今回の対戦相手は千葉県市原市に決まりました！

【チャレンジデーとは？】

多くの市民がチャレンジデーにより運動やスポーツに取り組むことで、体を動かすことへの関心を高め、日常的に運動やスポーツに親しむ人を増やしていくことを目的とするイベントです。

チャレンジデーは1983年にカナダのサスカトーン市を中心とする50市町村で始まり、笹川スポーツ財団が1993年から日本国内での普及活動を実施しており、今年で21回目の開催となります。なお、平成25年度は全国101自治体（57市、34町、10村）、総人口4,107,277人が参加を予定しています。

【どうやって参加するの？】

当日、市内で15分以上体を動かして
「報告」するだけです!!

誰でも！

年齢等を問わず誰でも参加できます。市外の方でも、山口市内で運動すればOK!

どんな運動でも！

午前0時～午後9時までの間に、15分以上継続した運動やスポーツであればどのような競技種目でもOKです！

(例) 近所を散歩、自転車で買い物に行く

などスポーツに限らず体を動かすことであればOK!

※学校単位で参加する場合、体育の授業や運動会の練習、部活は対象外です。

対戦相手の市原市って どんなところ？

千葉県の北西部の東京湾に面した、人口約28万人の都市で、製造品出荷額が愛知県豊田市に次いで全国第2位（平成19年）の工業都市です。また、Jリーグのジェフユナイテッド市原・千葉のホームタウンでもあり、ゴルフ場の数は、日本一の自治体です。



■チャレンジデーのポイント

- ・参加報告をお忘れなく！報告は一人一回までです。
- ・健康づくり、体力づくりなど目的をもって体を動かしましょう！

■報告方法

15分以上体を動かされた方は、集計センターへ電話・FAX・メールなどにより報告をするか、市内各所に設定予定の集計ボックスへ報告書を投函してください。

当日の開催行事、集計センター連絡先、集計ボックス設置場所については、5月15日号の市報に掲載します。

■問い合わせ 市生涯学習・スポーツ振興課 (☎083-934-2912)



生涯学習・スポーツ振興課

山口市

市原市担当者コメント

市原市民一致団結して、「打倒山口市」と「金メダル」の獲得を目標としています。お互い正々堂々と戦い、「金メダル」を目指しましょう！

※参加率に応じ、メダル認定証が授与されます。

市原市

スポーツ振興課の皆さん



山口市担当者コメント

目標は「目指せ！参加者10万人」です。目標達成はもちろん、勝ち負けにもしっかりこだわりたいと思います。対戦を通じて、市原市との交流も深めていきましょう！

対戦に敗れた自治体は相手の健闘を称え、対戦翌日から1週間庁舎のメインポールに対戦相手の旗を掲揚します。

市政トピックス

山口市地域づくり支援センターを発足

4月1日、「やまぐち方式協働によるまちづくり」の充実を図るため、山口市地域づくり支援センターの発足式を山口総合支所地域振興部内で行いました。

市長は「本市では、平成21年度の協働のまちづくり条例の施行以降、地域の特性に応じた自助・共助・公助の連携を現実化する地域づくりを進めています。これにより地域づくり協議会の事務局機能強化や、地域づくりの人的育成が求められ、こうした課題に積極的に対応・支援する核となることを期

待します。」と述べました。

本センター

は、地域情報は、地域情報収集・提供、地域づくりに関するアドバイスや法定外公共物整備事業等への技術的支援、地域リーダーの育成や、担い手づくりの研究など、市内21地域の地域づくり協議会や自治会などの活動支援を行います。

☎ 地域づくり支援センター

(☎0833・934・2982)



発足式の様子

阿東地域交流センター開館

老朽化により建て替え工事を進めていた阿東地域交流センターが完成し、4月4日に落成式を行いました。

本センターは、旧徳佐小学校跡地を活用し、平屋造りの非常に明るく開放的な建物で、地域産の木材をふんだんに使用したほか、併設する阿東図書館の空調設備には木質ペレット



阿東地域交流センター

や環境面にも配慮しました。また、防

☎ 阿東地域交流センター

(☎0833・956・0116)

「やまぐち新進アーティスト大賞」を贈呈

3月18日、「第5回やまぐち新進アーティスト大賞」に作家の平井様さん、また、今回特別に「同審査委員賞」にイラストレーターの土谷寛子さんが選ばれ、賞の贈呈を行いました。

平井さんは「自分の中の感情を、多くの方に共感してもらえる形で表現した点



土谷さん(左)と平井さん(右)

を評価していただきうれいです」と、土谷さんは「仕事と並行してきた中、このような賞をいただき、今後の創作の励みになります」と、喜びを語られました。

市では、今後も発表機会の提供等により創作活動を支援し、地域の方々がアーティストを支え、応援できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

☎ 市文化政策課

(☎0833・934・2717)

東日本大震災からの復興状況を視察【福島市】

3月13・14日に、副市長が福島市を訪問し、東日本大震災の復興状況を視察しました。

福島市では、福島第一原発事故による放射線被害の対策として、除染による放射線低減を最優先に進めており、農産物の生産・流通や健康管理などの対策を全庁あげて取り組まれていることが報告されました。福島市の瀬戸市長との面談では、「震災直後から、い

災拠点としての機能も兼ね備えており、災害時などにおける一時的な避難所としても対応できる施設となっています。

落成式で市長は「このセンターを地域づくり、まちづくりの活動拠点やさまざまな世代の皆様が、親しみをもって集うコミュニティの場として活用していただくよう期待しています。」と式辞を述べました。

なお、併設の図書館については、8月4日の開館を予定しています。

☎ 市防災危機管理課

ち早く物資提供や職員を長期に派遣いただき感謝している。大規模災害になると近隣自治体からの協力は難しくなる。そのような点からも山口市と2月に災害時相互応援協定が締結でき、大変心強い。今後も、さまざまな分野での連携を進めていきたい」との話をいただきました。

☎ 市防災危機管理課

(☎0833・934・2723)

「地域協働型資源物ステーション調査事業」の団体を募集します

◆問い合わせ 市資源循環推進課 (☎083-941-2185)

■事業について

市では、市民の利便性向上および資源回収量の拡大を図るため、市民が利用しやすい場所に資源物の回収拠点を設置する取り組みを進めています。

■対象団体

営利を目的としない公共的団体または、その団体が主たる構成員となっている連合体であらかじめ登録認定を受けた団体。

なお、政治、宗教を目的とする団体は対象になりません。

■回収品目

- ・古紙類
(新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック)
 - ・古繊維類 (布、衣類)
 - ・びん類 (リターナブルびん)
 - ・缶類 (アルミ缶、スチール缶)
 - ・その他金属類
- ※上記の5種類を含むこととし、資源回収業者に引き取らせることが必要

■対象要件

- ・不特定多数の市民を対象とし、無償で回収すること。

- ・回収時に分別指導員が立ち会うこと。
- ・市民が利用しやすい場所で月2回以上定期的に開催し、そのうち土曜日または日曜日を1回以上含むこと。
- ・1回あたりの開設時間は3時間以上とすること。
- ・資源回収業者は対象団体で選定し、回収品を全て資源化すること。
- ・委託期間は、1年間とする。

■委託料

資源物を回収する際の分別指導員の人件費に係る費用等を対象とします。また、コンテナ等の消耗品は貸与します。※ただし予算の範囲内

※市では、本事業のほかに、スーパーマーケットの駐車場にもステーションを設置する取り組みを進めています。また、平成24年11月から当面の間、旧亀山小学校において市と阿東文庫が協働して各家庭から排出される資源物を定期的に回収しています。



(旧亀山小学校での回収の様子)



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

ベネッセコーポレーション特別企画 画ときわ公園でスタンプラリー

スタンプを集めた人全員に「どうぶつおりがみ」か「きらきらインクのペンセット」をプレゼントします。

さらにアンケートにお答えの人には、抽選で豪華賞品が当たります。

■期日 5月26日までの土日・祝日プレゼント引き換え時間9時30分～17時

■場所 ときわ公園 (※荒天時は中止する場合があります)

■対象 中学生以下と保護者

■主催 株式会社ベネッセコーポレーション

■問い合わせ 常盤公園活性化推進室 (☎0836-54-0551)



どうぶつおりがみ



きらきらインクのペンセット

防府市

こどもの日&大平山つつじまつり

【こどもの日】

■期日 5月5日 (日・祝)

■場所 大平山山頂公園他

■内容 ジャグリング。(雨天中止) ミニコンサート。<yu&mi>12時30分～13時30分(6日も公演します)

【つつじまつり】

■日時 5月7日 (火)～19日 (日)

■場所 大平山山頂公園他

■内容 期間中は地元ボランティアによるバザー。11日～12日は、愛光園による花や苗木類、手作り作品の展示即売会、12日はジャグリング(雨天中止)を開催します。

※ロープウェイ始発は午前9時20分、こどもの日、つつじまつりの期間中、ロープウェイは毎日運行します(11日～12日は運行時間を延長します)

■問い合わせ 大平山ロープウェイ (☎0835-38-0442)



市内の魅力を紹介します。

山口市

SL「やまぐち」号の運行開始!!

JR山口線を走る

SL「やまぐち」

号の運行が5月3

日から始まります。

今年には地福駅で15分間停車し(津和野駅行きのみ)、田園風景の中でのSLとの記念撮影など、旅の思い出づくりが広がります。車窓からの眺めや沿線の観光など、ゆったりとレトロな雰囲気溢れるSLの旅をぜひお楽しみください。

■運行日程 5月3日～11月3日までの土日・祝日と、8月1・2・9・12～16・23・30日の70日間運転(※1日1往復)

■運行区間 新山口駅～津和野駅(料金は区間により異なります)

■予約 電話予約センター (☎0088-24-5489)

■問い合わせ 市観光課 (☎083-934-2810)



お知らせ

「市教育振興基本計画策定委員会」の委員を募集

市教育委員会では、中長期的な視野に立つて教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、市教育振興基本計画の策定を行います。このたび一般公募による策定委員を募集します。

■募集人数 2名程度

■任期 計画策定終了まで（6月～平成26年3月までを予定）

■対象 5月1日現在、18歳以上の市内在住者で、平日昼間の概ね5回程度の会議に出席可能な方

※国・地方公共団体の議員、常勤の公務員、応募時点で本市の審議会等の委員である方を除く

■申請 5月17日（金・必着）までに、直接または郵送にて所定の応募用紙に必要事項を記入、「これからの山口市の教育」をテーマにした作文（800字程度）を添付の上、市教育総務課（〒753-0074中央5丁目14・☎0833-934-2859 FAX 0833-934-2650）

軽自動車税の減免申請はお早めに

心身に障害のある方およびその方と生計を同じくする方が所有する軽自動車等について、一定の要件を満たす場合、申請により税金が減免されることがあります。

詳細については、市市民税課管理担当へお問い合わせください。

※減免は1人につき1台です。普通車で減免を受けている方は、申請できません。

■申請期限 5月24日（金）

■持参品 納税通知書（5月7日に発送予定）、身体障害者等手帳、運転者の運転免許証、車検証、納税義務者の印鑑

※心身に障害のある方と軽自動車等の所有者および運転者の住民票が別世帯の場合は、それぞれの方の印鑑が必要です。

■申請場所 市市民税課、各総合支所総合サービス課、各地域交流センター（大殿、白石、湯田、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東を除く）および分館、市大海総合センター

● 山口総合支所	〒753-8650	亀山町2-1	☎0833-922-4111
● 小郡総合支所	〒754-8511	小郡下郷609-1	☎0833-973-2411
● 秋穂総合支所	〒754-1192	秋穂東6570	☎0833-984-2121
● 阿知須総合支所	〒754-1292	阿知須2743	☎0836-65-4111
● 徳地総合支所	〒747-0292	徳地堀1744	☎0835-52-1112
● 阿東総合支所	〒759-1512	阿東徳佐中3417-2	☎0833-956-0111

☎ 市市民税課管理担当
（☎0833-934-2734）

高齢者保健福祉実態調査にご協力ください

5月から6月にかけて、各地区の民生委員が対象世帯を訪問します。

■対象 満65歳以上の一人暮らしおよび75歳以上の2人暮らしの高齢者世帯、寝たきりの高齢者がいる世帯

☎ 市高齢・障害福祉課（☎0833-934-2793）、各総合支所総合サービス課

第15回お田植えまつり

豊作祈願の踊りとして阿東徳佐に伝わる「はやしだ」を、徳佐小学校の児童と徳佐はやしだ保存会が披露します。また、「どろんこフラッグ」、「親子でソリレース」、「どろんこ尻相撲」の参加者を募集していますので、ぜひご応募ください。

■期日 5月19日（日）

SL「やまぐち」号ギャラリーの継続開催

現在、市菜香亭で好評開催中のSLギャラリーへ5月6日（月・祝）までへの場所と内容の一部を変更し、引き続き開催します。ぜひお越しください。



■日時 5月10日（金）～6月30日（日）

7時～21時※期間中は無休

■場所 湯田温泉西村屋ホール（湯田温泉四丁目1-30）

■入館料 無料

☎ 市観光課
（☎0833-934-2810）

両施設では、こどもの日（5月5日（日・祝））、国際博物館ウィーク（5月14日（火）～19日（日））は、入館料が無料になります。ご家族おそろいでご来館ください。

「地球温暖化防止活動推進員」募集

市では、地球温暖化防止に向けた地域からの取り組みを推進するため、「地球温暖化防止活動推進員」を募集します。

■**応募資格** 市内在住または在勤で18歳以上の方

■**任期** 6月1日（土）～平成27年5月31日（日）

■**活動内容** 市や県、県温暖化防止活動センターと協力し、地球温暖化防止について住民の理解を深めるための普及活動を行います。（緑のカーテン普及、家庭における取り組み状況の診断等）

■**申込** 5月20日（月）までに応募用

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成を行います

重症化する肺炎の多くは細菌感染によるもので、細菌でもっとも多い病原菌は肺炎球菌です。

予防する手段の一つとして、肺炎球菌ワクチン接種がありますが、任意接種なので、費用は自己負担となります。現在、国において、定期予防接種に向け検討していますが、本市では、国に先駆けて、接種費用の一部助成を行います。

■**対象者** 70歳以上の市民で、過去5年以内に接種を受けていない方。または、65歳以上70歳未満の市民で、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、糖尿病などの疾病のある方。

■**助成額** 3,000円。医療機関の窓口で、接種費用から3,000円を引いた残りの金額をお支払いください。接種費用は、医療機関によって異なります。

■**実施機関** 市内の契約医療機関

■**必要書類等** 健康保険証等、身体障害者手帳（交付を受けている方）、氏名、住所、生年月日の確認できるもの

■**問い合わせ** 市保健センター（☎ 083-921-2666）※詳細はお問い合わせください。

紙に必要事項を記入し、直接、郵送、FAXまたはEメールで環境政策課（〒753-0214 大内御堀496 ☎ 083-941-2181 FAX 083-927-1530）

✉ kankyo@city.yamaguchi.lg.jp

※応募要領、応募用紙は市環境政策課に備え付け、市ウェブサイト（表紙参照）からもダウンロード可

5月は赤十字月間「人間を救うのは、人間だ。」

日本赤十字社は、毎年5月の赤十字月間に「全国一斉赤十字社員増強運動」を展開し、赤十字社員への加入を推進しています。

皆さんより寄せられた社資は、国内外での災害救護事業や福祉増進等の貴重な資金となります。ご理解、ご協力をお願いします。

☎ 日本赤十字社山口市地区（市社会課内）☎ 083-934-2790、各総合支所総合サービス課、日本赤十字社山口県支部 ☎ 083-922-0102

市児童文化センターで楽しく学びませんか

6月～平成26年3月（8月は休講の間、次の講座を開催します。）

【絵画教室】

■**期日** 1年A教室：毎月第1、2水曜／1年B教室：毎月第1、2金曜／2年教室：毎月第1、2水曜／3・4年教室：毎月第1、2土曜

■**時間** 1、2年教室：15時30分～17時／3・4年教室14時～15時30分

■**対象** 市内の小学生（各教室24人、先着順）

■**受講料** 3,500円（年間）

■**かきかた教室**

■**日時** 毎月第1、2水曜15時30分～16時30分

■**対象** 市内の小学1年生24人（先着順）

■**受講料** 2,000円（年間）

■**持参品** 筆記用具

■**習字教室**

■**日時** 毎月第3、4水曜15時30分～16時30分

■**対象** 市内の小学1年生24人（先着順）

■**受講料** 2,000円（年間）

■**持参品** 筆記用具

■**日時** 毎月第3、4水曜15時30分～16時30分

16時30分
■**対象** 市内の小学3、4年生24人（先着順）

■**受講料** 2,500円

■**持参品** 習字用具

■**所申日** 日・月曜を除く5月8日（水）～17日（金）の間に、直接、市児童文化センター（湯田温泉五丁目2-13 ☎ 083-922-4280）

はじめての楽しい「アーチェリー教室」

射法の基本を学ぶことができる教室を開催します。

■**日時** 5月9日～7月11日の毎週水曜18時30分～20時30分（全10回）

■**場所** 維新百年記念公園弓道場

■**対象** 小学4年生以上の初心者20人（先着順）

■**講師** 大橋 裕氏（日本体育協会公認アーチェリー指導員）

■**受講料** 3,000円（会場利用料、保険料を含む）

■**持参品等** 動きやすい服装、運動靴

※アーチェリー用具は主催者側で準備

■**申込** 5月7日（火・必着）まで

に、FAXまたはEメールで、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、山口市アーチェリー協会事務局木原さん（☎ 083-925-4304

✉ archery@cablene.jp）

山口歴史発見！こねえな話、知っちゃうよ？

「山口が藩政の中心地に？山口にお城が!?」

■問い合わせ 市広報広聴課 (☎0833-9342753)

松前了嗣
歴史発見

松前了嗣と申します。山口市の歴史、特に明治維新関連に興味があり、日々勉強をするうちにお陰様にて、色々な方々からお声を掛けていただくようになりました。ありがとうございますーそして、なんと！今回から市報に登場させていただきますことになりました。まだまだ浅学、若輩者ですが、どうぞ、皆さん、よろしくお付き合いのほど、お願い申し上げます。

「150年がめじろ押し」

さて、今年は秋から山口に藩庁が移ってから150年。七卿が長州藩に身を投じてから150年。そして、山口市出身の井上馨、山尾庸三ら長州ファイブが渡英してから150年と本市では150年がめじろ押しであります。そこで今回は、藩庁山口移転にちなんで、県庁の地にあった山口御屋形跡についてお話をします。

「山口が藩政の中心地に！」

皆さんは、山口が藩政の中心地じゃったちゅつことをご存じでしょうか？

時代は遡り、風雲急を告げる文久3年(1863)4月16日。藩主毛利敬親は、湯田温泉への日帰りの湯治という名目で萩を出発。まずは山口御茶屋(現・CS赤れんが周辺)に入りました。その後も藩主は、山口に滞在。御茶屋の一部には政務を執るための政事堂が置かれ、萩からは多くの家臣が移動して来ました。

こうして山口の町は、藩政の中心地となり、大内氏の時代以来、再び脚光を浴びることとなったのです。その後、新屋形建設に伴い、政事堂は現在の県庁の地に移されました。

「山口にお城が!?」

県庁の地に、城があったちゅつことをご存じですか？
元治元年(1864)10月16日。保守派が革新派から政権を奪い藩内が混乱する中、山口御屋形(山口城)が竣工しました。ここは山に囲まれた天然の要害で、砲台や土塁、水濠を備えた近代的な西洋式城郭でした。

鴻城錦絵(鴻城道場門前橋ノ図): 県立山口博物館所蔵

「威風堂々。旧山口藩庁門」
県庁前には、旧山口藩庁門があります。その堂々とした風格ある姿に圧倒されます。現在は東向きに建っていますが、以前は南向きに建っていたようです。築造年代については幕末、明治以降など、諸説あるようです。

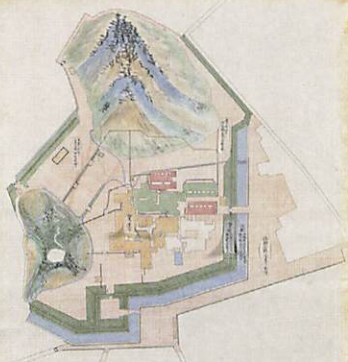
「嗚呼、山口御屋形跡」

この場所に佇みますと、龜山か

ら、さやかに風が吹いてきます。鴻ノ峰の緑が太陽の光に照らされ、きらきらと輝いています。幕末の志士たちも、この風のかほりを感じたのでしょうか。あの山々を眺めたのでしょうか。訪れる人々を長く立ち止ませ、自然と計り知れない思いを起させる山口御屋形跡。今回ご紹介した地を歩き、幕末の頃に思いを馳せてみませんか？ぶちええ所ですよ!!

松前了嗣(まつまえりょうじ)

山口の明治維新研究者。昭和42年生まれ。錦町(現・岩国市)出身。現在、「やまぐち萩往還語り部の会」・「山口市文化財保護指導員」・「大内史談会」などの活動に携わる他、講演や執筆活動にも積極的に取り組んでいる。



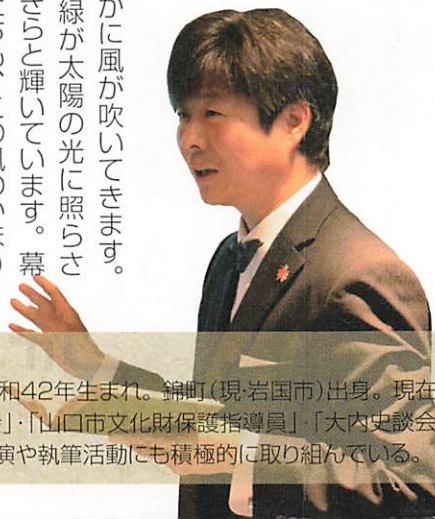
県立山口博物館所蔵

山口御屋形差図
山口御屋形は砲撃戦を想定し、数力所に砲台を備えた近代的、西洋式城郭でした。



山口御屋形跡(現在の県庁)
水濠と石組みが往時の姿を今に伝えています。

藩庁門
旧山口藩庁の正門で、山口県の重要文化財に指定されています。



徳地の水は甘〜いぞ♪

ホタルも人も舌鼓! おいしい徳地に遊びに行こう!



今回のちよい旅は、徳地地域のご紹介。
ご存じですか?徳地はホタルの隠れた名所なのです。(5月末~6月中)
なぜなら、自然が豊かで水がキレイ!お米もうまけりゃ酒もうまい!!ということで、
徳地観光協会の前田さんに徳地の魅力をたっぷりご案内いただきました。
■問い合わせ 山口観光コンベンション協会 (☎ 083-933-0088)



前田さんと記念撮影

徳地に足を踏み入れると早速入口で重源上人がお出迎え。バックには雄大な自然が広がります。眺めも良くてドライブには最高!

人もホタルも集います。にほんの里100選に選ばれた「串」地域

「あんたあ串のホタルを見たことないんかね?そりやすげえよ〜!」と言つて紹介されたのが「串」地域。清水と自然に育まれたホタルが無数に乱舞するスポットです。近年見学者の増えている名所なのだから。



6月15日(土)
「ホタルの夕べ in 串」
徳地地域交流センター串分館
(☎ 0835-54-0222)



「他にも三谷・佐波川やら、ホタルの名所はようけあるよ。徳地ホタルマップを作ったから見てね。」と前田さん。

水がうまけりゃお米が美味しい!

「お米の美味しさが分かるのはムスビやね。シンプルが一番うまい」と言う前田さんの言葉につられて頂いたお食事処山里のムスビ。か



お食事処山里
(☎ 0835-58-0711)

懐かしのボンネットバスで行く! 徳地ホタル観賞モニターバスツアー 〜虫とお酒と藍染めと〜

15日(土)

徳地の食を楽しみ、地酒を嗜み、その日最もホタルの見えるスポットにお連れします♪

- 発着 湯田温泉バス停・山口駅
- 行程 湯田温泉=山口駅=仁保道の駅=新谷酒造(見学・試飲)=重源の郷(藍染め体験・夕食)=ホタル見学=山口駅=湯田温泉
- 代金 3,500円(大人・子ども同額)
- 主催・問い合わせ 山口観光コンベンション協会 (☎ 083-933-0088)



西の京やまぐち 検索

詳しい旅行条件を説明した書面を用意していますので、事前にご確認の上、お申し込みください。

「徳地のうまいもんは他にもよーけあるいね!特産品販売所の南大門には、いろいろ売っちゃうよ。水がええけーなんでも美味しいよ。徳地に着いたら、まずは南大門にパンフレット取りにおいで」と前田さん。ドライブ前には徳地観光協会のウェブもチェック!!

「徳地の水は甘〜いぞ♪」を堪能し、さを実感!
水がうまけりゃお酒もうまい!
たった一人の酒造りで有名な新谷酒造の「わかむすめ」は、注目高まる地酒の一つ。徳地の清水をふんだんに利用し、無ろ過生原酒のこだわりぬいた一滴は、女性でも飲みやすく舌触りもなめらか。お土産用にもお勧めです。

表紙写真から
世界王者や「くまモン」も参戦!!
「第2回湯田温泉スリッパ卓球大会」

表紙の写真は、4月6日、湯田温泉のホテルで行われた湯田温泉スリッパ卓球大会ダブルスの部の決勝戦の様子です。

今大会には、北は北海道から南は九州まで全国各地から300名を超える選手がエントリー。個性豊かなコスチュームで仮装する選手やゆるキャラも参戦し、予選会場の維新百年記念公園スポーツ文化センターでも熱戦が繰り広げられました。



ゆるキャラも参戦

試合結果は、1979年世界卓球選手権の優勝者の小野誠治さんなど経験者が優勝者に名を連ねる中、経験者と未経験者のペアもダブルスの準優勝を獲得するなど、誰でも楽しめるスリッパ卓球の魅力に、選手だけでなく観戦した方々も多いに盛り上がり、湯田温泉も活気にあふれていました。

市では、今後このような活動を応援して地域の魅力を発信し、本市の知名度向上や交流人口の増加を図っていきます。

問い合わせ 市交流産業企画室
(☎ 083-934-2809)

イベントカレンダー

5.6月

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日) イベント名 (開催地域)
問い合わせ先 (電話番号)

春の久留米市田主丸植木まつり & JA 全農やまぐち旬感フェスタ (～7日) (佐山)
JA グリーンコアやまぐち
(☎ 083-988-0620)

企画展「藩庁移転 150 年—山口に吹く維新の風—」 (～6日) (大殿)
市歴史民俗資料館
(☎ 083-924-7001)

SL「やまぐち」号ギャラリーの開催 (～6日) (大殿)
市菜香亭 (☎083-934-3312)
大路口ビー (☎083-920-9220)

ゴールデンウィーク新緑まつり (～12日) (徳地)
重源の郷 (☎0835-52-1250)



2013 端午 de さんぽ (～12日) (大殿)
大路口路まち・ひとづくりネットワーク
(☎083-920-9220)

2 (木)

第25回山口100萩往還マラニック大会 (～4日)
実行委員会 (市内各所)
(☎0835-24-5444)

3 (金・祝)

ゴールデンウィーク祭り (～5日) (仁保)
道の駅仁保の郷
(☎083-929-0480)

5 (日・祝)

第40回青空天国 いこいの広場 (吉敷)
実行委員会 (☎083-922-7646)



子どもの日 施設入館無料
(大殿・鑄銭司)
市歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)
鑄銭司郷土館 (☎ 083-986-2368)
※ 5/14 (火) ～ 5/19 (日) も無料

10 (金)

市民ギャラリー「文化塾作品展～山口の初夏を彩る～」 (～12日) (大殿)
市菜香亭 (☎083-934-3312)

11 (土)

阿知須「いぐらの館」幕末・明治の貨幣と両替屋展 (～21日) (阿知須)
※ 15・16日は休館
阿知須「いぐらの館」
(☎0836-65-2403)

19 (日)

お田植えまつり (阿東)
山口県中央商工会阿東支所
(☎083-956-0032)



ほたる観賞 Week! (～6月2日) (大殿)
市観光課 (☎083-934-2810)



25 (土)

チャレンジデー2013 (市内各所)
市生涯学習・スポーツ振興課
(☎ 083-934-2912)



29 (水)

6/8 (土)

四十八瀬川ほたる祭り (小郡)
実行委員会
(☎083-972-6314)

山口市長 渡辺純心

各地域にお住いの皆様と、これからも手と手を携えながら、「住み続けたい、住んでよかった、山口市」を目指し、地域づくりに積極的に取り組んでまいります。



あしたへトライ
地域づくり支援センター開設

新年度に入りまして早一カ月が経過しました。先月、市内の小中学校の入学式に出席しましたが、新しい生活のスタートに、子どもたちはワクワクする期待感で胸いっぱいを見えました。「みんな頑張ってください。」と心を入れてお祝いを述べました。

さて、本市の新年度からの取り組みとして、「協働のまちづくり」をさらに進めるため、「地域づくり支援センター」を設置、スタートしました。発足式では、山口阿東森林組合から贈呈いただいたヒノキで作ったすしりと重量感のある看板を掲げました。地域づくりには、長い時間と多くの地域の皆様の協力が必要です。このセンターが、市民の皆様にとつて身近な存在となり、十分に活用いただく中で、本市の地域づくりが、これまで以上に進展することを願っております。

この広報紙は再生紙を使用しています。使い終わったら、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 5月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111 (代表) / 印刷 株式会社マルニ